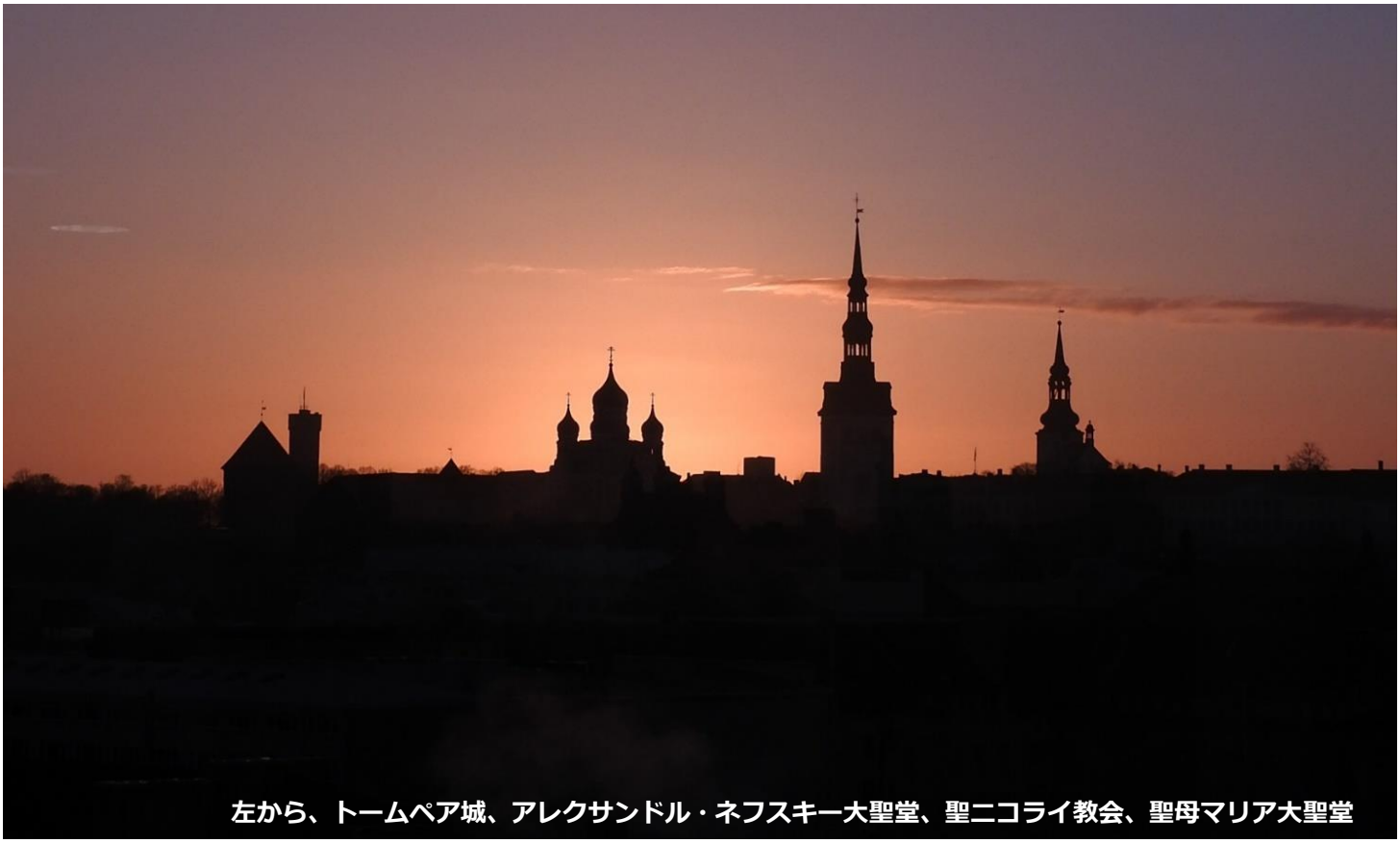
ちょっと寄り道　その 35　　タリン歴史地区

1974 年卒 飯山道久



左から、トームペア城、アレクサンドル・ネフスキー大聖堂、聖ニコライ教会、聖母マリア大聖堂

バルト 3 国エストニアの、1997 年世界遺産（文化遺産）登録のタリン歴史地区です。バルト 3 国は北から 50 音順に並んでいます。フィンランドも加えて「フェラーリ」という覚え方もあるようです。エストニアは人口約 130 万人の IT 先進国家です（行政手続きの 99%が電子上で、選挙は国外からも可能とのこと）。首都「タリン」は、1219 年にデンマーク王が占拠築城したことで「デンマーク人の城」との意味があるそうです。その後ドイツ騎士団、スウェーデンやロシアに次々と領有され、1918 年に独立、1940 年ソ連に併合、そして 1991 年にソ連から独立。最後の独立運動で 1989 年にバルト 3 国で「人間の鎖」（タリンから、ラトビアの首都リーガを経てリトアニアの首都ビリニュスまでの 600Km 以上を、200 万人超の人々が手を結んで繋がった）で連帯と独立への意思を表明したことが知られています。エストニアからは 70 万人も参加したそうです。伝統的にロシアに対する警戒心が強く、2004 年 NATO と EU に加盟、2011 年ユーロ導入。2014 年ロシアのクリミア併合に対し、オバマ米大統領がエストニアで NATO 集団防衛意思を強調しています。

再訪したくなる街タリン、中世ハンザ同盟の街並みが残る歴史地区は散策に手頃な広さです。トームペア城の他、デンマーク人が建てた聖母マリア大聖堂やロシア帝国時代のアレクサンドル・ネフスキー大聖堂等たくさんの塔が建ち、それぞれ先端は特徴のある（教会は宗派によって異なる）形をしています。今回はその塔や屋根の棟飾りを紹介します。

トームペア東向き展望台より旧市街を望む

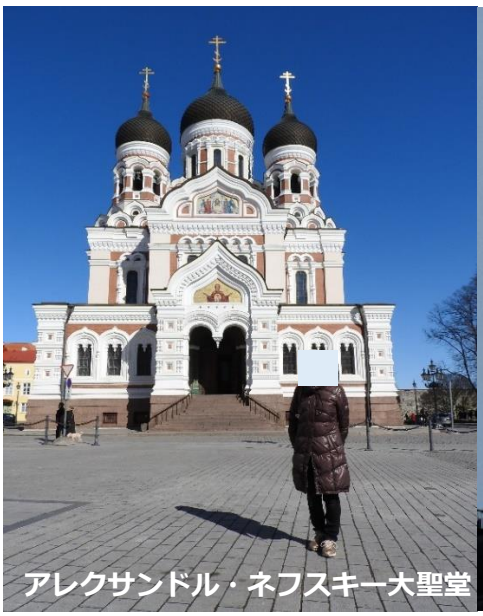
城壁の「長い脚ゲートタワー」

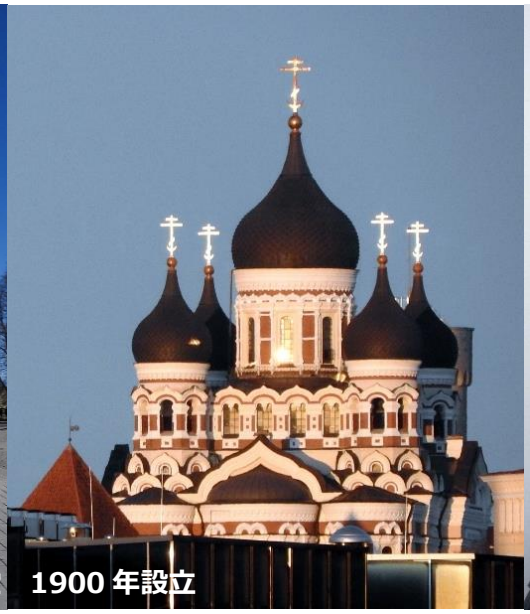
Pika jala Väravatorn

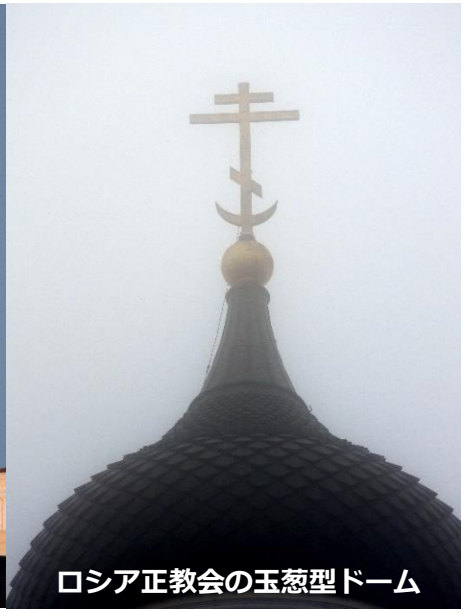
トームペア城 のっぽのヘルマン塔

聖母マリア大聖堂　1233 年築

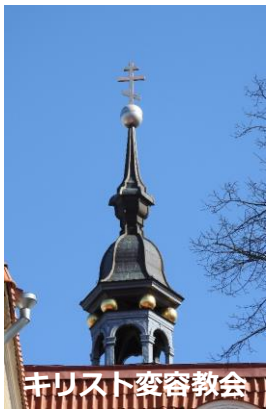
プラス　三日月


アレクサンドル・ネフスキー大聖堂


1900 年設立


ロシア正教会の玉葱型ドーム

聖ニコライ教会　1230 年頃築・1980 年再建築


キリスト変容教会

聖霊教会

聖オレフ教会（124mの塔）

空のモヤに塔の影

旧市庁舎 1404 年築

欧州一古い薬局　1422 年から営業

Tallinn City Theatre

Rixwell Old Town Hotell

Olde Hansa Restoran

城壁南東 ヴィル門

Restoran Kalle Kusta

城壁北端 ふとっちょマルガリータの上空に三日月

エストニア歴史博物館（大ギルド会館）

<google 地図参照>　ストリートビューで棟飾りも見られます。

トームペア城、アレクサンドル・ネフスキー大聖堂

https://www.google.co.jp/maps/@59.43555,24.7378545,17.7z

聖ニコライ教会

https://www.google.co.jp/maps/@59.4359476,24.7428908,18.74z

聖母マリア大聖堂

https://www.google.co.jp/maps/@59.4370189,24.7392098,18.74z

旧市庁舎広場、欧州最古の薬局

https://www.google.co.jp/maps/@59.4372582,24.7449791,18.95z

大ギルド会館、聖霊教会

https://www.google.co.jp/maps/@59.4381706,24.745259,19.72z

（写真撮影：2016.04.09~11）　（2020.09.01）